

後輩のみなさんへ ～少し早く生まれた附中生より～

みなさんこんにちは！三橋煌臥です。僕は、附中の卒業生で、現在高校一年です。

この度は少し附中に詳しい僕たちから後輩へ伝えたいことがあるので、お手紙を届けたいと思います。

ずばり、伝えたい内容とは附中の特色の一つである「追究」についてです。

この時期、おそらく各教科で、「追究」授業が始まっているのではないのでしょうか？

「追究」授業は附中に無くてはならないものの一つです。今、思い返してもどれも楽しかったなあ。例えば国語では、日本語に思えないような難しい文章を何時間もかけてみんなで読み解いていきました。それが、楽しくて楽しくて…。僕が国語の先生を目指しているのも附中の国語の追究で国語の奥深さに出会ったからです（どうでもいいかw）。

それに並んでやっぱり理科の追究ですよ！僕は2、3年生で理科の追究クラスとして追究をしてきましたが、ほんっつとに楽しかったです。理科の追究はとても人気があります。僕が2年生になったとき、他のクラスの子に「僕は理科の追究クラスだ」と言ったら、「いいなあ」と羨ましがられたことがありました。決して、他の教科が劣るわけではありませんが、きっと、理科が楽しすぎるのですw。

危ない、危ない。これ以上の私見的熱弁は控えておきましょう。大学の卒業論文並のページ数となってしまいますから…。

さて、僕から言いたいことは以上となりますので、もう終わろうかな！追究楽しんで・・・

(ピコン)

なんだ？、、、LINEの通知だ。どれどれ・・・。

仲間からの通知のようです。

僕以外の卒業生に、附中の追究の感想について取材した結果が届きました。

多くの卒業生が協力してくれています。では、どうぞ！



仲間と協力して、1つの課題について様々な角度から実験を重ねて答えを導き出すことの出来る追究授業は本当に楽しくて、人生においてかけがえのないものだと思います

午後10:47



テストなんてどうでもよくなるくらい、受験なんて後回しにするくらい夢中になれる。そう思える追究が突然始まったりした。そのときはほんとにテストなんか無視してよかったんだろうと今は思う。

午後10:06



教科書読んでも答えは書いてないから理科だったら置いてあるもの使って色々試すと話が進む

午前10:51



毎時間、各教科の追究だらけで、全部ががんばりたいがために休み時間にパングしたりもしたし、家でも朝までパソコンの前でデータを打ちこんだりして生活リズムがまじで絶望的だったりもした。でも、限りある時間の中で考えて、混乱して、さらに考えて、いずれパチッと自分なりの結論ができるそのときまで考え抜くことはなにより好きなことだとわかっていて。だからいくら睡眠時間がなくなっても、点数が下がっていてもやめられない中毒性があったんじゃないかなあ。

午後10:07



学習を自分の世界を広げる武器にする機会が与えられるのが附中の追及授業です。知識を受け取り紙の上で完結させてしまう事は正直、つまらない。自分の生きる世界と繋げ、教科書をも越えた発信に向け仲間と学ぶ事は、勉強に対する新たな喜びを見出す事が出来ると思います。自身の興味関心の発見もあるでしょう。何より級友と課題を共有し、討論する事はとても楽しい。そこでしか生まれない絆もあるかもしれません。追究授業で得られるモノはあなたの最高の財産となります。どこまでも貪欲に追う事ができるのが附中の授業です。かけがえのない3年間を後悔なきように、頑張ってください！

午後8:49

もし時間内に満足いくまでできなかった場合は、この先知識をつけてからもう一度できるよう、未来の自分に託しておくのも手だと思ってる。

午後10:08



楽しかった！

午後10:37

今では、あんなふうを考えまくることってなかなか楽しかったんだなあって高校に入って気がつき始めてる。

午後10:09



以上

午後10:37



協力して何かを達成するのはとても楽しいことだと公立行ってわかった

午後10:38



追究は、とにかく楽しいです、
難しくても、意味わかんないことも沢山出てくるけど、そこで諦めずに0から自分の考えを作って、みんなと共有して、共感したり反論したりして、考えをもっと深めていくっていうことに、楽しさを感じられるように、一つ一つの追究を全力でやってください、ていうか全力でやらないと損します絶対
この貴重な経験を存分に楽しんでください

追究(理科など実験系)は個人的にまずはっきりとした仮説を立ててみて、とにかく沢山試してみるのが1番だと思います
どんな小さなことでも、何も起こらなかったとしても、それも大事な発見なので心配しなくて大丈夫です、その小さな発見からどんどん広げて広げていけるとすごく良い追究になると思います
私は、色々な方向から手を手を付けてしまっただけで全部中途半端で終わってしまった経験があるので、一つの視点に絞って実験を重ねてくのをオススメします
理科以外の教科でも、最初に自分の意見を、なんとなくでもいいから持っていて、それを確信づける根拠を導き出していけるといいと思います、

意見交流は、ほんとに大事な時間です。
今まで自分が考えもしてなかった発想がどんどん出てくるので、遠慮なくその考えや、発見を吸収して、その後の自分の追究に繋げていけるといいです
まずは、自分の考えをみんなに発信すること。その時のみんなのリアクションで分かることもあると思います
私自身もそうでしたが、最初は自分の意見に自信がなくて何も言えないまま終わっていました、
でも、あんまり自信の無いような自分の意見も遠慮なく言うようになってから話し合いが楽しくなったし、全体的に濃い話し合いになったと思います
最初は色々考えちゃうと思うけど意味の無い意見なんてないのでどんどん仲間につづいていってください

高校生になってより思ったけど、こんなに充実した楽しい授業は他にないので、とにかく、追究を存分に楽しんでください！
楽しめば最高の追究になること間違いなしです！頑張ってください！

附中の追究活動は、ほんとに面白くて、自分のためになると思ったし、高校に入って改めて貴重な経験をさせてもらったって思えました。
初めは自分で全て考えて追究するのに困りっぱなしだったけど、段々慣れていくうちに自分で考える力が身について、自分でなんでもこなすことが癖になってやりがいに感じて、すごい嬉しかった。
高校生になって、レポートの課題があって、みんなが戸惑って上手く書けてない中、自分は普段からやってたから慣れてて、みんなに褒められたりしたのもすごく附中をありがたく思った。

追究授業はマジ神。高校に入ったら先生から与えられたクソつまらん課題とテーマを黙々とこなすだけ。こんなに自分の好きな方法で追究できるのは附中だけや！ありがたく思え！！というのが本音であります。

授業の追究はレベルが高くてわからないことも多いですが、仲間とたくさん議論しているとどんどん楽しくなっていきます！追究には、基本的に終わりがないので、授業の追究でもlifeworkでもとにかくとことんやるといいと思います

lifeworkのテーマ選びはマジ大事。変に先生受けとか狙って真面目なのにとつまらんこともあるから要注意。とにかく好きなことをやれ！今のうちだけ！感謝しろ！はっ！

人生でなかなか追究授業って出来ないからすごく貴重な体験だったと思う

今実際高校生になって普通の授業を受けてると死ぬほど眠いし、つまらない
今更追究授業を受けたいって思うし、もっと真剣に取り組めばよかったとも思う

ひとつひとつの疑問を自分の手で解決していけるのはとてもやりがいがある
一方でなかなか上手いはずなのに悩むこともあったけど、その中で新しい視点を見つけるきっかけをみつけたり根気強く頑張る力がついたりした
まとめると追究最高。
達成感えぐい。
全力で取り組んだもん勝ち！

追究の感想、学べたことなど箇条書きで示します。
・意見交流で話し合うことで、自分の意見を人に伝える力が伸びた
・追究結果を纏める際にレポートを書いたり図表を描いたり将来的にも役に立つ力が身についた
・一つのことについて詳しく調べていくことで探究心や好奇心が刺激され、楽しみながら学ぶことができた
・追究をしていて同じ路線になったクラスメイトとの会話が増え、クラスの仲が深まった

他にもいろいろ思うことはありますが、やはり物事について楽しく学べるのが最大のメリットかと思っています。
附中を卒業して高校で生活をしていて痛感していますが、やはり附中でしかできないことはたくさんありました。努力や辛さを伴うものも多かったですが、それを上回るほどの楽しさ、幸せがありました。高校が楽しくないわけではありませんが、附中を恋しく思う日々です。
現附中生の皆さんには是非充実した3年間にするために"附中でしかできないこと"(今回の話で言えば追究となります)に全力でぶつかってほしいと思います。
以上です。

これもまた、附中のよいところだと思うのですが、仲間とのつながりが、とにかく強いです。今回も忙しい中、僕が「後輩のためにこんなものを作りたい」といったら快く協力してくれました。これって、凄くないですか？忙しい中、時間を割いて依頼を引き受けてくれる……。

本当にいい仲間に出会ったなあと改めて思います。

附中生って頑固なんです。自分の考えを心から正しいって思っているんですよ。それだから、議論は一向に進まないわ、集会では質問が鋭いわで、本当に困る人たちです。

でもまあ、僕はそれも含めて附中が大好きなんですけれども……。

苦しいこともあると思います。周りは頭いい子ばかりだし、努力が実らないなんてことはよくあることです。僕も沢山悩んで苦しくなって逃げ出したくなりました。本来は楽しいはずの行事も、「楽しくない」って思うこともありました。今思うと苦しかった時期でした。朝起きて、「ああ、学校行きたくない」なんて少しばかり思うこともありました(でも、何だかんだ三年間で休んだことはありませんでしたw)。

今思うと、それも全部笑い話なんです。1年生では、恥ずかしながら窓を割ってしまいました(猛省)。2年生では文化祭で空回りしかせず、誰よりも騒がしかった僕は、その後の3学期に、誰よりも静かになりました。「自分のせいでクラスの雰囲気が悪くなった……」、そうとしか思えなくなっていました。さらに3年生では、体育大会のNEO長になったものの、多額の資金を使うわ、計画通りにいかないわで会計さんとグル長に何度叱られたことか……。

それでも、みんなが手助けしてくれて、結局すべてが最高の思い出なんですよね。

当時、僕は、確かに「附中生」だった。誰よりも本気で生きた。そう自負しています。

この先、何かしらの選択をしなければならないときが来るはず。行事であったり進路であったり……。そんなとき、後悔するくらいなら、あえて危険な(冒険的な)、安全ではない道を選んでみるのも一つの選択だと思っています。

大丈夫。僕でもどうにかなっているのだから、みなさんなら余裕ですよ。

今しかできない、附中生活。

瞬間、心重ねて。頑張っ！

先輩たちより(執筆三橋)